

取組概要

切畑小学校では、「自らの長所を活かし、楽しく生活しようとする児童の育成」に向けて、授業において「できた！」を実感できるように「まとめ」「振り返り」を重視した取組を進めるとともに、「自分で課題をみつけ筋道を立てて解決できる児童の育成」に向けて、探究的な学習の充実を図っている。

工夫・ポイント

【学校マネジメントの工夫】

- ◆ 学校評価の4点セットに「検証」の頻度を明示し、分掌主任を中心に進捗管理・提案等が円滑にできるようにしている。
- ◆ 弥生地区CSでの協議を基に、学校ごとの学校運営協議会を実施し、協育コーディネーターとの連携を図りながら、地域学習の充実を図っている。

特徴的な活動

- ◆ 児童が自らの学習過程を振り返ったり、解決のために必要な情報を取り出したりすることができるよう、生活科・総合的な学習の記録を行うとともに、教室に学びの足跡をどの学級も掲示している。
- ◆ 行事や活動ごとに児童自身がめあてを立て、振り返る活動を定期的に行いながら、教師による見取りやフィードバックを行い、めあての更新につなげている。

関係者の声

- ◆ 自己肯定感を高めるために、「できた！」を実感できるような取組を学年で工夫しながら取り組んでいる。各教室での創意工夫や子どもの姿を共有したり、短期で検証していく取組も考えられる。
- ◆ 達成状況の確認について、例えば児童のアンケート結果に加え、教員による評価や外部評価などを組み合わせ、客観性を高めることも考えられる。

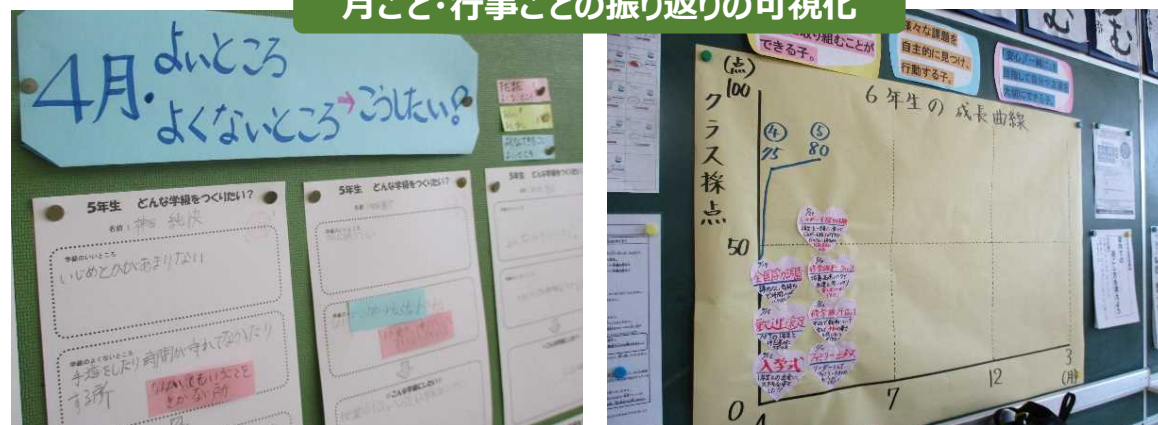
カリキュラム・マネジメントの取組



総合と国語の関連を図った実践



月ごと・行事ごとの振り返りの可視化



自己肯定感を高める取組